

◆ 2 万葉言葉・歌詞 ◆

■恋ひ恋ひて(こいこいて) 作詞：大伴坂上郎女 補作・作曲：貞苺雅彦

1. 大伴坂上郎女(4-667)

恋ひ恋ひて 恋ひ恋ひて (こいこいて こいこいて)
逢ひたるものを (あいたるものを)
月しあれば (つきしあれば)

夜は隠るらむ (よわこもるらむ)
しまし しましはあり待て (しまし しましわありまで)

まだ夜は深いまま
もう 少しこのままで

恋ひ恋ひて 恋ひ恋ひて (こいこいて こいこいて)
月夜だから (つうきよ だあから)
もう 少しこのままで

2. 大伴坂上郎女(1-527)

来むと言ふも (こむというも)
来ぬ時あるを (こぬときあるを)
来じと言ふを (こじというを)
来むとは待たじ (こむとわまたじ)
来じと言ふものを (こじというものを)

3. 大伴坂上郎女(4-661)

恋ひ恋ひて 恋ひ恋ひて (こいこいて こいこいて)
逢へる時だに (あえるときだに)
愛しき (うつくしき)

言尽くしてよ (ことつくしてよ)
長く 長くと思はば (ながく ながくとおもわば)

あふれる愛の言葉で
長く 愛してください

恋ひ恋ひて 恋ひ恋ひて (こいこいて こいこいて)
愛していると (あいして いいると)
何度 何度も聞かせて

4. 言尽くしてよ (ことつくしてよ)
長く 長くと思はば (ながく ながくとおもわば)

あふれる愛の言葉で
長く 愛してください

恋ひ恋ひて 恋ひ恋ひて (こいこいて こいこいて)
愛していると (あいして いいると)
何度 何度も聞かせて